

「錦絵が語る

開国と水際の番人」

錦絵展

入場無料

2/18(SAT)~2/28(TUE)

横浜税関 資料展示室
※2/18のみ7階ロビーにて展示

特別講演会 (講師：長谷川聰哲)

2/18(SAT)

14:00~14:40

横浜税関本関 7階
(詳細は裏面をご参照ください)

長谷川聰哲コレクション

横浜税関主催

税関百五十周年記念 錦絵展



錦絵で見る、新時代の幕開け

1859年の開港によって、日本の近代国家へのスタートアップの地として選ばれた、横浜。そのゲイトウェイ（門戸）を担うことになったのが、神奈川運上所、のちの横浜税関です。

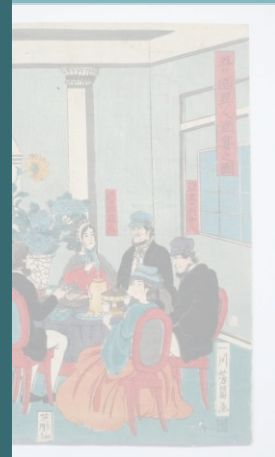
19世紀に英国の産業革命の狼煙が上がり、輸送・通信のコストが劇的に削減され、世界市場の統合が起きました。ヒトやモノ、そしてお金が国境を越えて繋がる、世界のグローバル化時代の幕開けです。

かくして、グローバル化の波が極東の島国まで到達します。西洋と異なり、活版技術が広く普及していない時代。

江戸末期の人々は、木版刷りの錦絵を通じて西欧の社会、文化に接していました。

当時の人々が目にしていた近代日本のスタートアップ、日本の開国、開港の様相を錦絵を通じてお楽しみください。

長谷川 聡哲



新しい視点から歴史を紐解く講演会

参加費無料



展示作品を含む、当時の錦絵の見方や解釈をわかりやすく解説いただきます。

日時：2023年2月18日（土）
14：00～14：40

場所：横浜税関本関 7階

横浜税関資料展示室よりご入場ください
としあき

講師：長谷川 聡哲

財務省税関研修所客員講師
中央大学名誉教授



【アクセス】

横浜税関資料展示室

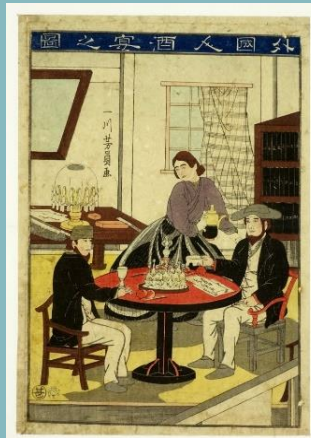
開館時間：10：00～16：00

電車：日本大通り駅から徒歩5分

【お問合せ先】

横浜税関 総務部 税関広報広聴室

TEL:045-212-6053



歌川(一川)芳員

「新橋鐵道乃館之画」